

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・社会〉

特別研修員 社会 吉山 健太郎（小学校教諭）

単元名 『自動車をつくる工業』（第5学年） 全8時間計画

単元のねらい

我が国の自動車の生産では、生産に関わる人々が、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をしていることや、貿易や運輸が自動車の生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。

単元構想の意図

本単元では、自動車の生産に関わる人々の工夫や努力を理解できるようにします。「つかむ」過程では、自動車づくりについての疑問や調べたいことを基に、「単元の課題」を立てさせます。「追究する」過程では、自動車づくりの工夫や努力について調べさせます。「まとめる」過程では、日本の自動車づくりの特色について、キャッチコピーに表現する活動を通して、「単元の課題」に対する結論をまとめさせます。問題解決的な単元・授業構成、学習形態の工夫、効果的な写真や映像資料の活用、ワークシートの工夫などを通して、学習内容を確実に身に付け、理解を深められるようにしました。

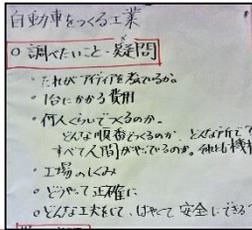
過程

主な学習活動

1. 「単元の課題」を把握する

- 資料を基に、疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題をつかむ。

児童から出た
疑問など



単元の課題

自動車づくりに関わる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。

- 「単元の課題」に対する結論を予想をし、学習計画を立てる。

問題解決的な単元・授業構成

自動車の年間生産台数などの資料を提示したり、それらについて問いかけたりすることで「なぜ?」「どうして?」「調べたい!」という課題意識をもたせる。それを基に疑問や調べたいことを考えさせ、「単元の課題」を設定し、問題解決的な単元構成・授業構成を行う。

学びの見通しをもたせる

「単元の課題」について、答えを予想して話し合い、何を調べれば明らかになるのか考え、学習計画を立てさせる。それを基に学習計画表を作成・掲示することで、次時以降も課題意識と見通しをもって取り組めるようにする。

学習形態の工夫

個人、全体、ペア、グループなど、学習形態を工夫することで、多様な意見に気付いたり、互いに考えを補充・修正したりできるようにする。話し合いの際には、その目的や手順を明確にし、見通しをもって話し合えるようにする。

効果的な写真や映像資料の活用

教科書や資料集などを基に、写真や映像資料を精選し、提示することで、自動車生産の様子を理解しやすくする。映像資料は、オートメーション化されたロボットの動きや衝突実験の様子など、写真では伝わりづらいところまで理解させる一助とする。

ワークシートの工夫

ワークシートは、資料や枠組等を整理することで、分かりやすく情報をまとめられるように構成する。また、調べたことを基に、その意味を考えさせ、本時のまとめや振り返りに生かせるようにする。

振り返りの視点を提示

振り返りの際には、以下のような視点を提示し、学びを自覚できるようにする。

- (1) 本時で分かったこと
- (2) 有効だった資料や調べ方
- (3) 自分との関わり

つかむ(2)

2. 「単元の課題」の解決に向け、単位時間ごとに追究する

- 自動車をつくる工程について調べる。



【ペアやグループでの話し合い】



【児童がつくる板書】

- 自動車づくりにおける、人々の工夫について調べる。

- 組み立て工場と関連工場のつながりについて調べる。

- 自動車の輸送や輸出について調べる。

- 自動車の開発について調べる。



【映像資料の活用】



【ワークシートの例】

3. 「単元の課題」についてまとめる

- 「単元の課題」に対する結論をまとめ、単元全体の振り返りをする。



【キャッチコピーでのまとめ】

「単元の課題」に対する結論

自動車づくりに関わる人々は、社会のニーズに合わせて、組み立て工場と関連工場が協力し、機械を活用して安全に効率よく自動車を生産していた。

「単元の課題」に対する結論をまとめさせる

「まとめる」過程では、単元全体を通して学習してきたことを基に、「単元の課題」に対する結論を導くような活動を設定する。

(活動例) キャッチコピー、ポスター、地図、新聞、関係図、ガイドブック、4コマまんが、年表など

※「単元の課題」に対する結論を導くための適切な手立てとなるよう、課題提示の仕方を工夫する。

追究する

(5)

まとめる(1)

指導例：『自動車をつくる工業』（第5学年 第1時）

1 本時のめあてをつかむ。

○既習事項や本単元に関わる資料を基に、本時のめあてをつかむ。

T：日本の機械製品で、もっとも多く生産されていたのは何ですか？

S：自動車をもっとも多く生産されていました。

T：年間で何万台生産されていると思いますか？

S：何万台かな？分からないです。

〈めあて〉 自動車やその生産に関する資料を基に、自動車づくりの学習について単元の課題を立てよう。

2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

○1965年頃と現在の自動車の写真、自動車の生産台数や普及率、部品の数を示す資料、空から見た組み立て工場の写真などを基に、日本の自動車生産の特色を調べる。

T：資料から読み取ったことを書きましょう。

S：昔の自動車と今の自動車では、見た目も機能も、かなり変わったんだね。

S：日本では、自動車の普及率がどんどん上がってきたんだね。

○調べたことを基に、自動車生産についての疑問や調べたいことを記述する。

○一人一人が考えたことを、ペアで話し合う。

S：3万個もの部品を、どうやって正確に組み立てるのかな？

S：何人くらいの人に関わっているのかな？

S：何か機械を使って部品を組み立てているのかな？



3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことを話し合う。

○資料を基に、一人一人が考えた疑問や調べたいことを伝え合う。

T：自動車生産について、疑問や調べたいことを発表しましょう。

S：大きな工場の中で、どんな作業が行われているのか知りたいです。

S：どうやって新しい自動車を開発するのでしょうか？

S：自動車の部品は、どのようにつくっているのか調べたいです。

○発言内容の共通点を考える。

T：みなさんの疑問で多かったものや共通点は何ですか？

S：「自動車づくりに関わる人々の工夫や努力」についてが多かったです。

S：どのようにして、よりよい自動車が開発されるのか知りたいです。

【キーワード】 たくさん よりよい自動車 工夫や努力 など

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○本単元で共通して解決すべきことについて、共通点を基に、「単元の課題」を考え、まとめる。

【単元の課題】 自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。

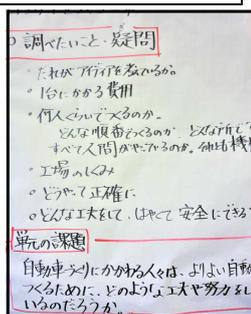
○本時の振り返りをする。

S：みんなの疑問を聞いていたら、僕も興味がわいてきたよ。

S：どうやって自動車はつくられるのかな。

S：自動車づくりでは、機械を使っていると思うけれど、人がやっている作業には、どのようなものがあるのかな。

S：3万個もの部品を組み立てることに驚いた。正確につくれる秘密を知りたい。



指導のポイント

教材への方向付け

○既習事項や身近な生活を想起させたり、自動車に関する資料を提示したりすることで、本単元の学習内容について見通しをもたせる。

単元を見通した資料提示

○「単元の課題」につながる資料を精選して提示し、自動車生産について、疑問や調べたいことを記述させることで、単元全体への課題意識をもたせる。

ペアや小グループでの交流

○ペアや小グループでの交流を設定することで、多様な考えに触れ、共有し、深められるようにする。

「単元の課題」の設定

○児童から出された疑問、調べたいことから、共通点やキーワードを話し合い、それらを基に、「単元の課題」を児童の言葉でまとめられるようにする。

児童の疑問を大切にする

○児童が発表した疑問や調べたいことを模造紙などに記録して掲示することで、次時以降の学習課題として意識できるようにする。

指導例：『自動車をつくる工業』（第5学年 第5時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○前時の学習を想起して、自動車の部品がどこでつくられているのかを予想する。

T：前回までに学習した組み立て工場で3万個も部品をつくっていたのでしょうか？

S：組み立て工場では、細かな部品はつくっていませんでした。

S：きっと別の所でつくっているだと思います。

S：関連工場で作っていると思うよ。

〈めあて〉 組み立て工場と関連工場は、どのようにつながっているのだろう。

めあての設定

○単元計画や「つかむ」過程での疑問を振り返らせるなどして、本時で解決したいことを考えられるようにする。

○本時では、「自動車の部品がどこでつくられているのか」と問い、問題解決的な学習を通して、理解できるようにする。

2 一人一人が解決に必要な情報を集め、読み取る。

○教科書に載っている、自動車のシートの資料を基に、組み立て工場と関連工場のつながりを調べ、ワークシートに記述する。

○一人一人が集め、読み取った事実をペアで共有し、補完・修正する。

S：シートは、組み立て工場ではなく、関連工場で作られていたよ。



学習形態の工夫

○ペアや小グループで交流させることで、多様な意見に気づき、考えを深められるようにする。

○全体で話し合う際には、教師はファシリテーター役として児童の発言を広げたり、問い返したりして、深められるようにする。

3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

○整理した情報を基に、社会的事象の特色や意味について話し合う。

T：調べたことを話し合いましょう。

S：シート工場でシートをつくる前にも、シートに必要な部品をつくる工場がありました。

S：こうしてたくさんの工場や人が連携して、自動車はつくられていました。

S：1つの工場が全ての作業をするよりも、多くの専門的な部品をつくる工場が仕事を分担して協力すると、効率もよいと思います。

○東日本大震災の際の事例を基に、新たな視点で話し合う。

T：東日本大震災では、部品をつくる工場が被災して多くの工場に影響が出ました。このことについて、どう思いますか？

S：多くの工場が関わっている分、どこかに問題が起こると大きな影響が出る可能性があることが分かりました。



映像資料の活用

○DVDやインターネット上で公開されている動画などを視聴させることで、写真では伝わりにくい様子や動きを捉えられるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○考察した内容についてキーワードに着目して、まとめの言葉を考える。

組み立て工場と関連工場は、組み立て工場を中心にたくさんの工場が繋がって、1つの工場のように協力して自動車をつくっている。

○一人一人が、本時のめあてを意識した学習の振り返りをする。

S：自動車をつくるために、こんなにもたくさんの人や工場が関わっているとは知らなかった。

2) ふりかえり

もしも、一つの工場が壊れたりしたら、全ての工場が止まってしまうから大変だなと思った。組み立て工場は、関連工場が協力しているからこそ自動車がたくさん作れると思った。

多面的・多角的に考えさせる

○2で調べた具体的な事実を基に、新たな視点や資料を提示することで、社会的事象についてさらに多面的・多角的に考えられるようにする。

学びを自覚させる振り返り

○振り返りでは、次の三つの視点のうち、いずれかについて記述するよう促し、学びを自覚できるようにする。

- (1) 本単元で分かったこと
- (2) 有効だった資料や調べ方
- (3) 自分との関わり

社会科学学習指導案

平成30年9月～10月 第5学年 指導者 吉山 健太郎

I 単元名 自動車をつくる工業

II 学習指導要領上の位置付け

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

III 目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

自動車生産に関わる写真やグラフなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、自動車生産に関わる人々が消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産し、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。

イ (思考力、判断力、表現力等)

優れた自動車を多く生産し販売することについて、環境、安全、福祉の視点を生産に関わる人々の工夫や努力と関連させて考え、適切に表現している。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

我が国の自動車生産の様子に関心を持ち、問題を予想し、学習計画を考え、意欲的に調べている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／8）

※樋口研修員と共同研究

- ねらい 1965年頃と現在の自動車、日本の乗用車の普及率や生産台数の変化、1台の自動車に使う部品数や組み立て時間などの資料を基に、疑問や調べたいことを話し合い単元の課題を立てる活動を通して、自動車生産の様子やそこに関わる人々の工夫や努力を追究する意欲をもてるようにする。

2 展開

| 学習活動（分） | ○：留意点 | 点線囲：評価 | ☆：振り返りの子供の意識 |
|---|-------|--------|--------------|
| 1 本時のめあてをつかむ。（5分） ○1965年頃に多く乗られていた自動車と現在の自動車、街中を走行する自動車の写真、日本の乗用車生産台数の変化が分かるグラフ等を提示し、気付いたことを発言するよう促す。 ○日本の自動車工業について学習していくことや、本時が自動車工業の学習について「単元の課題」を設定する時間であることを確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 自動車やその生産に関する資料を基に、自動車づくりの学習について単元の課題を立てよう。</div> | | | |
| 2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（15分） ○学級全体で資料を読み取る視点などを確認してから個の活動に移るように助言する。 ○新旧の自動車、豊田市にある自動車工場の写真、日本の乗用車普及率や生産台数の変化、1台の自動車に使う部品数や組み立てにかかる時間、シーートの組み立てなどの資料から、疑問や調べたいことをワークシートに記述するよう促す。 | | | |
| 3 学級全体で、自動車生産についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（15分） ○日本の自動車生産についての疑問や調べたいことを発言するよう促す。 ○発言内容の共通点などを確認したり、その理由を問いかけたりする。 ○板書の内容を基に「よりよい自動車」「たくさんつくっている」「工夫や努力」などのキーワードを共有させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自動車工業の資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを記述したり、発言したりしている。＜記述・発言（1）＞</div> | | | |
| 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分） ○日本の自動車づくりについて、共通して解決すべきことを問い掛けるとともに、それぞれが考えた「単元の課題」の言葉を文で表しペアで伝え合うよう促す。 ○キーワードを基に、「単元の課題」の言葉を文で表し、板書する。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px;">【単元の課題】 自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。</div> ○本時の振り返りとして日本の自動車づくりについて、初めて知ったことや参考になった友達の意見、特に調べてみたいこと等を記述・発言するよう促す。 ☆ 自動車はどんどん性能がよくなって世の中に広がっているな。どうやってこんなすごい自動車をたくさんつくっているんだろう。調べてみたいな。 | | | |

V 本時の展開（5／8）

- 1 ねらい 自動車のシート工場について調べたことを基に、組み立て工場と関連工場とのつながりについて伝え合う活動を通して、工場の連携について理解できるようにする。
- 2 展開

| 学習活動（分） | ○：留意点 | 点線囲：評価 | ☆：振り返りの子どもの意識 |
|---|---|--------|---------------|
| 1 本時のめあてをつかむ。（5分） | ○1台の自動車を生産するのに約3万個もの部品を使っていたことを想起させるとともに、それらの部品がどこでつくられているのか問いかける。 ○地図を基に、組み立て工場の周囲に関連工場があることを確認させるとともに、なぜ、組み立て工場の周囲に関連工場が集まっているのか問いかける。 | | |
| めあて 組み立て工場と関連工場は、どのようにつながっているのだろう。 | | | |
| 2 一人一人が解決に必要な情報を集め、読み取る。（15分） | ○自動車のシートを例とした、シート工場の写真や「部品の流れ」を示す図、映像資料を基に解決に必要な情報を集めさせ、ワークシートに記入するように助言する。 ○一人一人が集め・読み取った情報をペアで伝え合うよう助言する。 | | |
| 3 学級全体で整理した情報を基に考察する。（15分） | ○調べた情報や考えたことを発表するよう促す。 ○組み立て工場と関連工場のつながりについての利点や問題点を問いかける。 ○児童の発言を基に、複数の工場のつながりについて、利点と問題点を板書して整理する。 | | |
| 自動車は、組み立て工場と関連工場とが一つの工場のようにつながり協力し合っていることを考え、記述したり発言したりしている。＜記述・発言(4)＞ | | | |
| 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分） | ○考察したことを基に、複数の工場のつながりで明らかになったことを問いかけるとともに、児童の発言を基に、まとめの言葉を板書する。 ○自動車の組み立て工場と関連工場のつながりについて、分かったことや驚いたことなどを意識した振り返りをするよう促す。 | | |
| ☆ 自動車は、関連工場がいくつもつながって部品をつくっていて、それが組み立て工場に集まって1台の自動車がつくられているんだね。無駄なく効率的でもある反面、どこかが止まると全ての動きが止まってしまうことには驚いたな。 | | | |

V 本時の展開（8／8）

※樋口研修員と共同研究

- ねらい 日本の自動車づくりについてキャッチコピーで表現し合い、単元の課題の結論を考える活動を通して、人々の工夫や努力が我が国の自動車工業を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。

2 展開

| 学習活動（分） | ○：留意点 | 点線囲：評価 | ☆：振り返りの子供の意識 |
|--|-------|--------|--------------|
| 1 本時のめあてをつかむ。（5分） ○自動車をつくる工業における本時の位置付けが、「単元の課題」に対する結論を導く時間であることを確認させる。 ○よりよい自動車をたくさんつくるための工夫や努力について、追究する過程の各単位時間で解決してきたことを問いかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしていたのかをまとめよう。</div> | | | |
| 2 一人一人が、学習してきたことを基に「単元の課題」に対する結論を考える。（15分） ○前時までの学習で共有した内容を提示する。 ○自動車づくりについて調べてきた中で、印象に残っている工夫や努力について、キャッチコピーでワークシートに表現するよう促す。その際、理由も合わせて記述させる。 | | | |
| 3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。（15分） ○一人一人が考えた自動車づくりの工夫や努力に関するキャッチコピーを黒板に掲示させ、表現した理由を発言するよう促す。 ○自動車づくりに関するキャッチコピーを黒板上で分類させ、分類した視点を基にキーワードを問い掛ける。 | | | |
| 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分） ○キャッチコピーを基に整理したことから、自動車づくりの工夫や努力について「分かったこと」「気付いたこと」を記述、発言するよう促す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">消費者の需要や社会の要求に合わせ優れた技術を生かした開発や機械を使った効率的な組み立て工程、工場同士の相互の協力などが、我が国の自動車工業を支えていることを記述したり、表現したりしている。＜記述・発言（2）＞</div> ○児童の発言を整理し、自動車づくりについての単元のまとめを板書する。 ○「単元の課題」に対する結論を基に、本単元の振り返りをするよう促す。 ○「単元の課題」を協働的に解決できたことや、自分と自動車との関わりについて考えられたことなどを称賛する。 ☆ 自動車づくりにかかわる人々は、ニーズに合わせて、組み立て工場と関連工場の協力のもと、機械を活用して安全に効率よく生産しているんだね。そのおかげで、私たちの生活は快適なものになっているんだね。 | | | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>目標</p> | <p>社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>ア (知識・技能) 自動車生産に関わる写真やグラフなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、自動車生産に関わる人々が消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産し、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。</p> <p>イ (思考力・判断力・表現力等) 優れた自動車を多く生産し販売することについて、環境、安全、福祉の視点を生産に関わる人々の工夫や努力と関連させて考え、適切に表現している。</p> <p>ウ (学びに向かう力・人間性等) 我が国の自動車生産の様子に関心をもち、問題を予想し、学習計画を考え、意欲的に調べている。</p> | | |
| <p>評価規準</p> | <p>(1) 我が国の自動車の生産は、生産に関わる人々の工夫や努力による優れた技術によって支えられていることに関心をもち、その利点や課題について考えたり調べたりしている。</p> <p>(2) 自動車の生産に関わる人々の工夫や努力などについて、調べた事実を基に思考・判断したことを適切に表現している。</p> <p>(3) 我が国の自動車の生産について、地図やグラフ等の資料から、生産に関わる人々の工夫や努力、運輸など多面的な視点をもち、必要な情報を読み取っている。</p> <p>(4) 我が国の自動車の生産は、生産に関わる人々が消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をすることによって支えられていることを理解している。</p> | | |
| <p>過程</p> | <p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p> | <p>☆振り返り (意識)</p> | <p>◇評価項目 〈方法 (観点)〉</p> |
| <p>つかむ</p> | <p>1</p> <p>○1965年頃と現在の自動車、日本の乗用車の普及率や生産台数の変化、1台の自動車に使う部品数や組み立て時間などの資料を基に、疑問や調べたいことを話し合い単元の課題を立てる活動を通して、自動車生産の様子やそこに関わる人々の工夫や努力を追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>自動車やその生産に関する資料を基に、自動車づくりの学習について単元の課題を立てよう。</p> | <p>☆自動車はどんどん性能がよくなって世の中に広がっているな。どうやってこんなすごい自動車をたくさんつくっているんだろう。調べてみたいな。</p> | <p>◇自動車工業の資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(1)〉</p> |
| <p>【単元の課題】 自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。</p> | | | |
| | <p>1</p> <p>○単元の課題を解決するにはどのようなことを調べればよいか予想したことを基に、自分たちの考えを伝え合う活動を通して、単元の課題を解決する意欲をもてるようにする。</p> <p>〈調べる内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車ができるまで ・自動車づくりの工夫 ・関連工場との関わり ・外国との関わり ・安全や環境に対する工夫 <p>単元の課題を解決するために調べることや、その方法を考えよう。</p> | <p>☆工場ではどんなふうに自動車をつくっているのかな？早くたくさんつくったり、人や環境を大事にできるような工夫があるんじゃないかな？たくさんつくられた自動車は外国でも使われているのかな？</p> | <p>◇自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるためにどのような工夫や努力をしているかを予想し、調べる内容を考えて、記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(1)〉</p> |
| <p>追究する</p> | <p>1</p> <p>○自動車をつくる工程の写真や動画を基に、どのように自動車がつくられているか調べる活動を通して、自動車が機械によって素早くたくさんつくられていることを理解できるようにする。</p> <p>組み立て工場働く人は、どのように自動車をつくっているのだろう。</p> | <p>☆自動車をつくるときに、危険な作業や重たいものを使うときは機械が主役になって、素早く正確にたくさんつくっているんだね。</p> | <p>◇自動車づくりの流れを、資料を基に読み取り、記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(3)〉</p> |
| | <p>1</p> <p>○組み立て工場に関する資料から調べたことを基に、自動車生産における指示ピラやアンドンなどの役割を話し合う活動を通して、組み立て工場働く人々の工夫や努力を理解できるようにする。</p> <p>組み立て工場働く人々は、よりよい自動車を効率よくつくるために、どのような工夫をしているのだろう。</p> | <p>☆ひもスイッチやアンドンで異常を知らせたり、指示ピラでチェックしたりすることでミスをなくし、よりよい自動車を効率よくたくさんつくっているんだね。</p> | <p>◇よりよい自動車をつくるために、工場働く人々がどのような工夫や努力をしているか記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p> |
| | <p>1</p> <p>○自動車のシート工場について調べたことを基に、組み立て工場と関連工場とのつながりに</p> | <p>☆自動車は、関連工場がいくつもつながって部品をつく</p> | <p>◇自動車は、組み立て工場と関連工場とが一つの工</p> |

| | | | |
|-----|---|---|---|
| | <p>ついて伝え合う活動を通して、工場の連携について理解できるようにする。</p> <p>組み立て工場と関連工場は、どのようにつながっているのだろう。</p> | <p>っていて、それが組み立て工場に集まって1台の自動車をつくっているんだね。無駄なく効率的でもある反面、一つが止まると全ての動きが止まってしまうことには驚いたな。</p> | <p>場のようにつながり協力し合っていることを、記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p> |
| 1 | <p>○原材料の輸入や、自動車の輸出先の資料から読み取ったことを基に、多くの自動車を販売できている理由を考え伝え合う活動を通して、日本の自動車工業が世界とつながっていることを理解できるようにする。</p> <p>完成した自動車はどのように消費者のもとに届けられているのだろうか。</p> | <p>☆日本は原材料を輸入して、つくった自動車を日本で売るだけでなく世界に向けて輸出しているんだね。1日に2500台も輸出されていてすごいな。現地生産も盛んになっているのには驚いたな。</p> | <p>◇日本の自動車が国内だけでなく海外でも生産・販売されていることを記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p> |
| 1 | <p>○自動車が人や環境に与える影響や安全性の確保について調べ、伝え合う活動を通して、それぞれの立場の人々のニーズに応える自動車が生産されていることを理解できるようにする。</p> <p>人と環境にやさしい自動車づくりには、どのような工夫や努力がされているのだろう。</p> | <p>☆乗る人、障害がある人など、それぞれの立場の人のニーズに応じて、人や環境に優しい自動車が生産されているんだね。</p> | <p>◇人々のニーズに応え、人や環境に優しい自動車を生産していることを記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p> |
| まとめ | <p>1 ○日本の自動車づくりについてキャッチコピーで表現し合い、単元の課題の結論を考えることで、人々の工夫や努力が我が国の自動車工業を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。</p> <p>自動車づくりにかかわる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしていたのかをまとめよう。</p> | <p>☆自動車づくりに関わる人々は、ニーズに合わせて、組み立て工場と関連工場とが協力し、機械を活用して安全に効率よく生産しているんだね。そのおかげで、私たちの生活は快適なものになっているんだね。</p> | <p>◇消費者の需要や社会の要求に合わせて優れた技術を生かした開発や機械を使った効率的な組み立て工程、工場同士の相互の協力などが、我が国の自動車工業を支えていることを記述したり、表現したりしている。</p> <p>〈記述・発言(2)〉</p> |

※本単元の学習後、「SUBARU」の矢島工場で見学を行う。